

# 島にESDを根付かせるため 幼児期からはじめる子供丸ごと 自然環境教育の実施体制の構築

〒684-0403  
島根県隠岐郡海士町大字海士5328-6  
電話:08514-2-1313  
E-mail:sizenmura@navy.plala.or.jp  
http://www.sizenmura.com/



ひろげる助成

1年目

実践



幼児向け自然体験活動

幼児期～高校生の延べ参加者	1,231人
野外活動場所の開拓	14箇所
今年度計画の達成度	77%
活動の全体目標に対する達成度	50%

## 苦労した点と工夫した点



### ■ 苦労した点

高校生対象の活動において、学校と連携することができず、生徒が個別に参加する形となったため、広がり期待できなかった。

### ■ 工夫した点

地域住民を巻き込んで行うため、幼児期の自然体験活動を町内の全集落(14集落)で実施し、地域の方も参加できるようにした。

## 課題

現代は、田舎であっても子どもが自然に触れる機会はほとんど失われており、都市部以上に自然体験は地域の中で優先度は低いと思われ自然体験会などの機会も非常に少ない。

## 目標

未就学児、小・中・高校生において、環境教育を意識した自然体験活動の機会を提供し、ESDの考え方を根底に将来の島の担い手となる人材を育成する仕組みを構築する。

## 活動内容と成果

<自然体験実施活動>

幼児期から高校生まで対象年齢に応じた環境教育プログラムを実施する。

【成果】●幼児:自然体験活動(年158回) ●小学生:外部講師の自然観察会

(年2回) ●中学生:自然環境学習会(年2回) ●高校生:野生生物調査など環境教育講座(年2回)  
<人材育成実施活動>

保護者にまで対象を広げ、子どもが自然と触れ合えるようサポートできる人材を増やす。【成果】●環境教育指導者研修会(年5回) ●「自然を活かした教育、子育て」講演、WS(各1回)



小学生向け自然観察会

## 今後の展望

島外者との環境教育ミーティングや環境教育をベースとしたジオパークツアーや企業CSRのコーディネート、島外者向け自然学校などの学びが主体となるエコツーリズム活動を積極的に開催する。